

中津川市、岐阜信金、中津川商議所、中津川北商工会

ゼロカーボン連携

協定締結 取り組みに実効性



協定書を交わす小栗仁志市長(左)ら4団体の代表者
＝中津川市役所

中津川市は30日、カーボンニュートラルに関する幅広いソリューションメニューを持つ岐阜信用金庫、中津川商工会議所と中津川北商工会との4者によるゼロカーボンシティの実現に向

込んだ協定となった。
市は2021年3月に市区長会連合会と共同で、50年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の共同宣言をしている。今回の連携はその流れを加速させるもので、脱炭素経営や補助金の紹介などにつながる各種セミナーの開催や、中小企業にとって取り組みの第一歩となる、温室効果ガス排出量を可視化する支援メニューの提供などが柱。
同日、同市役所で締結式があり、小栗仁志市長、岐阜信用金庫の執行義徳常務理事、中津川北商工会の早川正人会長、中津川商工会議所の成瀬博明専務理事が協定を交わした。第1弾として9月19日にセミナーを開催する。小栗市長は「先進的な取り組みとなるよう市内企業にも働きかけ、ゼロカーボンシティの実現に向けてまい進したい」と意気込んだ。(富樫一平)